

「野中式事例検討」とは、日本福祉大学研究フェロー、日本精神障害者リハビリテーション学会長等を歴任された故野中猛先生が生み出し、全国各地で実践されている事例検討の方法です。
先生は、2013年7月24日にご逝去なされました。

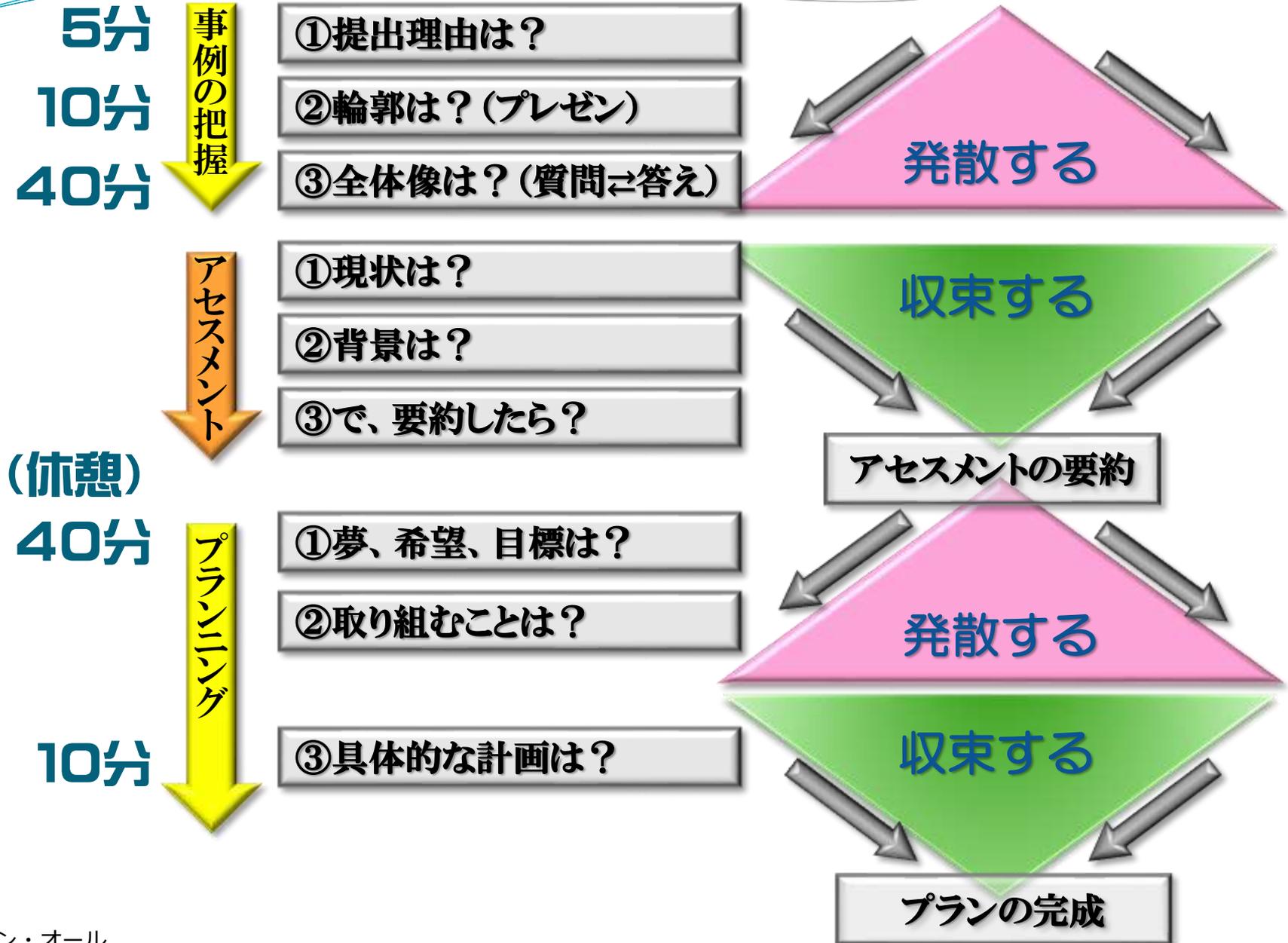
野中式 事例検討



さっぽろ地域づくりネットワーク
ワンオール

1. 事例提供者を決める
2. 自己紹介・機関紹介
3. 事例の把握
 - ①概要：プレゼン
 - ②全体像：質問⇔答え
4. アセスメント
 - ①現状の査定
 - ②背景の理解
 - ③主要主題の把握
5. プランニング
 - ①目標
 - ②計画
6. まとめ（感想交流・疑問確認）

きょうの時間の流れ(目安)





1. 場のルール

- 守秘義務
- 日常の立場、役割から離れて「頭を自由に」
- どんな質問、意見も安心して話せる環境

2. 参加者のルール

- 非難、批判しない
- 質問は一人一つ
- ホワイトボードを見ながら（メモなし）
- できるだけパスしない

3. 事例提供者のルール

- 事例提供者は事実を回答
- 推測、思いは事実と分けて
- 「分からない」もok

ホワイトボードの活用-1

生活側面ごとに情報を整理 ▶ アセスメント

基本情報
 田中さん(58歳 女性) ○○町在住
 脳梗塞 右麻痺 身体障害者手帳1級
 重度障害者医療費助成制度利用中
 障害基礎年金2級

希望
 住み慣れた場所で
 夫とともに暮したい

住まい
 平屋建て
 持ち家

家族

生活歴

	S	S									
	33	37									
出生	小学校	中学校	高校	大学	就職	結婚⇒	専業主婦	初病⇒	抑うつ⇒	夫…	…
										夫…	…
										夫…	…
										夫…	…
										夫…	…
										夫…	…

サービス

生活サイクル

〔1週間の生活〕
月 火 水 木 金 土 日

Am
Pm
夜

〔1ヶ月の生活〕
月 火 水 木 金 土 日

1週
2週
3週
4週

能力

ADL 食事調理 移動 立座位 寝返り 入浴 排泄 運転 服薬管理 金銭管理	《対人》 自己主張 あいさつ 協調性 妥協 SOS発信 断る 謝る	《仕事》 持続性 継続性 集中力 工程理解 手順理解 手順変更
	《趣味》 《特技》	

ホワイトボードの活用-2

支援目標設定 ▶ 支援計画策定

【支援目標】

- #1.医療情報確認
- #2.住宅改造検討
- #3.面接セッティング
- #4.健康時の生活情報把握
- #5.心理的背景の把握
- #6.興味・関心の発見
- #7.できること探し
- #8.生活サイクルの把握
- #9.家族情報把握
- #10.ホームヘルプの検討

